

事業計画書

事業名	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業
団体名	小金原みんなでわくわくする会
事業概要	
<p>老人から孫まで、四世代がより健康で安全・豊かな生活ができる居住環境を実現するため、小金原地区における地域活動をSDGsの視点から再構成し、全世代参画のもと、助け合える魅力あるまちづくりを実現する。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>小金原地区は、松戸市でも高齢化が進んでいる地域と言われておりますが、その現状把握は十分でなく、また、若い世代へ街の魅力を十分に伝えられていないため、このままでは、「町内会活動は年寄りがやるもの」というとらえ方で、高齢化が益々進むと、現在の町内活動・地域活動すら提供できなくなってしまう可能性が有る。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>四世代が、健康で安全・豊かな生活ができる災害に強い居住環境を実現するため、従来からの地域活動をSDGs活動の一環として整理・進化させ、相互の協力体制による「ありがとう！」のまちづくりを目指す。</p>
<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容 (令和4年度は、SDGsの勉強会を通して、SDGsの全体趨勢や活動項目の理解を中心に進めてきたので、5年度は、小金原の具体的活動として、進化・定着した市民活動とする。)</p> <p>【SDGsの2項目に絞り、次世代の担い手を増やす地域住民活動】 SDG 3; あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活と福祉の確保・推進 SDG11; 安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境の実現</p> <p>1) SDGsによる現活動の整理・進化⇒松戸市の活動を参考に実践に移行</p> <p>① 外部講師を招いて「SDG's × 地域活動」のテーマ掘起こしとグループアプローチ⇒合計4回の勉強会を計画しており、理解のさらなる浸透と実践活動展開を目指す。 “私は、〇〇実践をして、SDGsに参画します”の宣言!</p> <p>② SDGs3,11 項に関係した地域活動を見直すグループ別ワークショップの実施</p> <p>例(1)ごみの管理と清掃活動(町会)⇒定着化と当番制導入 (2)高齢者支援活動(老人会)⇒グリーンスローモビリティの活用支援(時間表・停留所表示、誘導等) (3)地域防災・防犯(防災リーダー・防犯委員)⇒西部防災センター見学会、防災訓練の実施(児童委員より根木内小等に案内・勧誘及び町会役員の子供家族、孫等にPR)</p> <p>2) 町内会のSWOT(強み弱み)分析作成による活動マトリックス作成 SDGs—SWOT 勉強会を通して、摘出項目の整理</p> <p>① 全世代の目から、現地域の良い点、悪い点の整理・分析。 家族内に持ち帰って、子供家族、孫と意見出し合う</p>

- ② 各項目の改善、対策案を具体化列記する。
- ③ 具体項目を SDGs 項目に分類、整理する。⇒1)①との連携
- ④ 即対応可能なこと、予算が必要なものを仕分けする。
- ⑤ 案件毎のリーダーを決める。⇒1)②との連携
- ⑥ 本年度の具体的活動計画策定と実施。

⇒具体案、骨子ができ上がった時点で、活動 PR のチラシ配布し、特に若い世代の参画をアピールする。(2023/10)

2 スケジュール

実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
2023/5	・第 5 回 SDGs 勉強会 SWOT 抽出項目の整理・分類と改善対策案の具体化	実施体制;運営委員、外部講師 江戸川大学 佐藤秀樹先生 対象;地域住民 場所;小金原市民センター
2023/7	・防災センター見学会 小中学生も募集	実施体制;運営委員、対象;(同上) 場所;西部防災センター
2023/8	・第 6 回 SDGs 勉強会 活動リーダーの選定と具体化案の詳細設定	(第 5 回 SDGs 勉強会に同じ) グループ別ワークショップ
2023/11	・第 7 回 SDGs 勉強会 各グループ発表会	(第 5 回 SDGs 勉強会に同じ)
2024/2	・第 8 回 SDGs 勉強会 とりまとめと今後の計画	(第 5 回 SDGs 勉強会に同じ)
通年 (1回/3月)	・ごみ箱美化、整理整頓	実施体制;運営委員、対象;地域住民、場所;各ごみ置き場
通年 (1回/月)	・グリーンスローモビリティの高齢者活用支援	実施体制;運営委員、対象;地域住民、場所;各停留所誘導・補助
通年 (1回/年)	・バーベキュー、運動会 等地元住民行事の支援	実施体制;運営委員、対象;地域住民、場所;各行事開催場所 若い参加者に活動 PR と参画提案

既存の事業からステップアップする部分(ステップアップ助成のみ)

スタートアップ助成のため該当なし

事業の目標

1. SDGs 活動の地域浸透;全構成員(10名)、地域住民(10名)
2. まちの長短所 SWOT 分析;全構成員(10名)、地域住民(10名)(含家族)
3. SWOT 分析表の完成;掲示板及び回覧板に掲載
4. アクション計画書の作成とグループ活動
5. 具体的活動の実施;実施状況進捗を掲示板及び回覧板に掲載、活動計画の 80%達成

今後の展望

1. 上記活動を定着させ、次年度ステップアップ助成が申請できるように推進ロードマップを作成し、若い世代を巻き込んで実践を推進する。
2. 非居住住宅の実態把握を図る。